

事業実績報告書

様式 2
(2019年度)

※この報告書は、なごや環境大学のウェブサイト上に記録として掲載されます。

講座番号	B-50	講座名	セントレアまるごとウォッチング2019
記載日	2020/3/8	団体名・企業名	環境カウンセラー岡本明子

〈講座全体の概要〉(300字程度)

新型コロナウイルス感染症の発生・蔓延により、水際対策の重要性が再認識されています。国際空港セントレアで開講する『セントレアまるごとウォッチング』は、まさに水際対策が大きなテーマです。／大人の社会見学型環境講座、環境カウンセラーと行くシリーズ、今回もセントレアです。国際空港セントレアには、検疫など日本を護る施設がたくさんあります。また、島という性質上、特徴的な環境配慮の仕組みや、先進的な環境配慮をしている空港会社の姿勢を知ることでもできます。いつもはあまり意識してこなかったこと、普通では見ること・入ることのできない機会がたくさんあります。／見て、学んで、行動する。生活を見直す機会とします。



※写真1の説明

第1回：税関・出入国管理庁：制限区域での見学。出入国の導線をたどる

※写真2の説明

第3回：中部国際空港(株)：貨物エリア内に新設された水素ステーションの見学

〈企画・運営者の声(感想)〉(350字程度)

制限区域の見学、参加者の個人情報の扱いなど、毎回大変神経を使うセントレア講座ですが、無事終了することができました。／今回は、新型コロナウイルス感染症に、多大な影響を受けました。4回目は、ごく初期+検疫関係の見学がなかったので決行、5回目は、検疫所の見学でしたのでセントレアでの講座は中止、代替に、名古屋市内で、検疫所職員から輸入食品についての講義を受けました。この講座のテーマの1つである『水際対策の重要性を知る』リアルな経験となりました。／税関、出入国在留管理庁、植物防疫所、動物検疫所などの見学は実施、空港会社のご厚意による滑走路内からの見学、新設の水素ステーションの見学など、有意義な機会を得ました。参加者の満足度、関心度も深く、情報の伝播や生活での実践に期待しています。／関係の皆様から心から感謝いたします。

〈受講者の声(実感した反応及びアンケートより)〉(3~5点、計350字程度)

新型コロナウイルス感染症、豚コレラ、ヒアリなど、人・日本にとって好ましくない侵入が話題になることの多い年に、タイムリーな講座を受講できてよかった。数年前にも受講したが、いろいろと進化していると感じた。AIの活用や、最新の機器を導入して、人(検疫官)の負担を減らせないだろうか。多くの方々の地道な努力に、ただただ感謝。／空港会社のエネルギーへの取り組み(省エネや水素利用など)に、意識の高さを感じた。滑走路からの見学では、間近を走る飛行機に圧倒された。／幅広い関係機関を繋ぐ講座の企画が、貴重だ。10年も続く講座とのこと、参加して続ける理由がわかった。(考えられた内容、普通で見ることのできない所を見学というワクワク感)